

平成22年度山形県公立高等学校入学者選抜から 推薦入学者の選抜方法がより分かりやすくなります

現在は



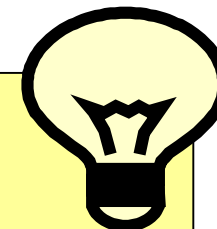
I 推薦要件について

どんな生徒が推薦してもらえるの？
成績は？特別活動のがんばりは？

*推薦要件…推薦されるための条件



22年度から



より具体的な推薦要件を公表します

1 キャリア形成 2 評定概況
3 特別活動 4 校外活動 5 その他

1はすべての高校、2～5は各高校の判断です。

*キャリア形成…将来の職業や社会人としての在り方
についての考え方

II 選抜規準について

どんなところをどのように評価される
のかな？

*選抜規準…合格（内定）判定のものさし



選抜規準を公表します

各高校では、
調査書（学習の記録）、調査書（学習の記録以外の部分）、
面接、作文←の配点比率を公表します。

III 面接や作文、適性検査について

どんなところを評価してもらえるの？



評価の観点と評価の段階を公表します

各高校では、面接や作文、適性検査（実施する学校）
の評価の観点と評価の段階を公表します。

どうすれば分かりやすくなるかな？
（現在 各校で検討中です）



詳しくは裏も見てね！



もっと知りたい！

平成20年10月
山形県教育庁高校教育課

(例) A高校の場合



I 推薦要件の公表内容

1 キャリア形成に係る要件（必須）

将来さらに高度の教育や専門分野の教育を受けることを希望し、明確な目的意識を持つ者

2 成績評定概況に係る要件（任意）

評定合計の分布段階が③（24～30）段階以上の者

3 特別活動等に係る要件（任意）

- ・生徒会活動に積極的に取り組む生徒会役員としてその充実に努めた者
- ・文化的活動や体育的活動において、地区大会等で〇位程度以上の入賞や入選の実績をあげた者

4 校外活動に係る要件（任意）

地域の奉仕活動を継続的・積極的に行っている者

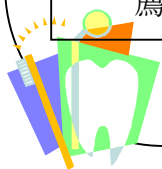
5 その他（任意）

〇〇検定〇級以上の資格を有する者

1 キャリア形成に係る要件と、2～5の要件のいずれか一つに該当する者

注1 必須以外の推薦要件数と、推薦資格を有するための要件数は各高校ごとに違います。

注2 出願にあたっては、要件を満たす他に中学校長の推薦が必要です。



II 選抜規準の公表内容

「調査書（学習の記録）：調査書（学習の記録以外の部分）：面接：作文（実施する場合）」の配点比率

- ① 40：20：20：20（内定割合80%）
- ② 30：40：15：15（内定割合20%）

A高校においては、選抜規準を2つ設定しています。
①で募集人員の80%、②で20%を内定とします。
*選抜規準の数と、内定割合の設定については各学校で決めます。

III 面接や作文、適性検査の評価の観点と評価の段階の公表内容

・面接の観点

- ①目的意識を持っているか
- ②積極性があるか
- ③コミュニケーション能力があるか

・面接の評価段階

A B C Dの4段階

※作文、適性検査についても同じような公表方法です。

なるほどねー



補足

作文の出題については、以下のように工夫されます。

- a 作文＋志願動機型
- b テーマ型
- c 資料読み取り型

これまでの志願理由書のねらいを含むものとして、aのような出題も可能となります。

各高校の推薦要件等の公表は平成21年6月の予定です。